

【地域からの事前質問に対する回答①】

担当： 建設水道部

【質問事項（題目）】

村道の土留め対策について

【質問要旨（内容）】

畑より低い道路は、畑の土が側溝に流れ常時、土が被り水が滞留し本来の排水溝の役割を果たしていない。

民家周辺では水が腐敗し悪臭を放っているところもあり、環境面からも問題である。特に、春先は一斉に畑を掘り起こすのでいたるところでこのような現象が見受けられる。

村道の整備に際し、畑の土が流れないように土留め対策を盛り込んだ予算化が図れないか。また、これらの対策をどのように考えているかお伺いしたい。

【回 答】

村道拡幅の基本的な整備計画につきましては、畑より道路を低く両側に側溝を設置することが通常の計画でございます。畑との段差が1 m以下の場合には法面に芝を設置し、1 m以上の場合には土留等を設置して土がこぼれないような施工をしております。耕起した土が道路にこぼれた場合は、各個人で処理していただくようご協力をお願いしたいと存じます。

新たな土留め対策については、難しい状況です。これまで、村では側溝に土が流れ込まないようにグレーチング蓋をコンクリート蓋に取り替えるなど、少しでも土が入り込まないように処置をしております。これからの村道拡幅計画には、その辺りも考慮して設計に取り組んでまいりたいと存じます。

側溝の清掃につきましては、村内全域を対象に年次計画をたてて調査し、民家周辺の側溝清掃をしているところですが、予算の都合上、村内全域を周るのに約10年ほどかかる予定です。石神外宿地区の民家周辺は平成15年度に側溝の清掃をしておりますが、水が腐敗し悪臭を放っているとのことでありますので、なるべく早めるよう努力をしてまいります。村には側溝の蓋上げ機械がございますので地域の皆様のご協力で清掃を行っていただければ、村では回収のお手伝いもいたしますので、ご協力ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

【地域からの事前質問に対する回答②】

担当： 総務部

【質問事項（題目）】

今後の地域活動について

【質問要旨（内容）】

住民が一体となった地域ボランティア活動が展開されている。その成果は十分とは言えないが、着実に定着しつつある。班（常会）を単位とした活動はもちろんのことであるが、全国的・地域的な特徴として、仕事をリタイアした地域住民が班（常会）を超えて、時間及び体力の面で力を発揮していることは言うまでもない。従って、村関係課の事業の取り組みを地区の中に積極的に取り入れながら、地域活動を側面から支える事業や出前講座等有効な支援策を提供していただきたい。

例えば

- ・ 地域特産物の育成とファーマーズマーケットへの流通システムの形成
- ・ 地域ボランティアを高めるための講演や講義等
- ・ 地域の超高齢化社会への対応策としての事業の展開

【回 答】

住民の皆様が一体となって、地域ボランティア活動を展開していただき、成果を上げ、着実に定着しつつあるというお話しを伺い、常日頃からの地域の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

さて、御提案のとおり、住民と村との協働によるまちづくりが、これまで以上に重要になってきております。また、協働によるまちづくりにあたっては、相互の役割分担等をあらかじめ明確にし、相互理解を深め信頼関係を構築したうえで実施していかなければならないと考えております。

相互理解を深めるためには、まずは住民の皆様、村政に関する情報を積極的に提供していかなければなりません。村といたしましても、例えば出前講座や各種の講演会、高齢化社会への対応策等関連する事業の実施にあたっては、広報とうかいや村公式ホームページ、自治会回覧等を通じて、情報を積極的に発信しているところですが、まだまだPR不足な点があると思っております。

今後もあらゆる広報媒体を利用して、住民の皆様、に情報を提供してまいりたいと考えております。

石神小学校区

ご要望のありました、自治会や地域活動等における支援策につきましては、総務部自治推進課が窓口になり、その内容に応じた関係部課・関係機関などの御紹介も可能ですので、是非お問合せください。